

平成30年度事業報告

1 会議・事業等開催一覧

開催日：事業区分		○運営事業 □人づくり事業 ☆ツーリズム・ガイド ◆ジオの恵み関連事業
4月18日	○	JGN理事会（東京都）
4月21日	□	ジオパーク講座「白頭山噴火の年代測定について」（伊達市）
4月26日	○	幹事会（洞爺湖町）
4月28日	□☆	ジオパーク講座「ガイドのためのリスクマネジメント」（洞爺湖町）
5月9日	○	構成4市町首長会議（洞爺湖町）
5月12日	□☆	ジオパーク講座「ガイドのためのインタープリテーション」（洞爺湖町）
5月16日	○	ジオパーク活用プロジェクト会議（伊達市）
5月17日	○	教育普及委員会
5月20日	○☆	地球惑星科学連合大会（千葉県）
5月22日	○	行政委員会
5月28日	○	観光委員会、住民ガイド委員会
5月30日	○	洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会総会
6月3日	□☆	ジオパーク講座「ガイドのためのプログラムづくり」（洞爺湖町）
6月7日	☆	JGNアポイ岳大会 プログラム検討会
6月20日	◆	アイヌ語地名絵本制作（仮称）ヒアリング調査（豊浦町・札幌市 ～22日）
6月29日	○	構成4市町首長会議（洞爺湖町）
7月15日	□☆	北海道博物館ジオパーク祭り 出展（札幌市）
7月25日	○☆	西山山麓火口散策路（大グラーベン等）草刈り作業
8月2日	□	小学生ジオパーク学習交流会（胆振総合振興局主催・様似町）
8月4日	□	親子有珠山登山会
8月7日	○	ノースペナインジオパーク再認定審査への審査員派遣（イングランド）
8月10日	◆	虻田にぎわいまつり ジオピザ出店（洞爺湖町）
8月17日	○	日本ジオパーク再認定審査（～19日）
8月25日	□	火山マイスター養成講座（座学 伊達市）
8月26日	□	火山マイスター養成講座（野外 西山山麓散策路）
9月10日	○	UGGp 国際会議（イタリア・アダメッロブレタ）
9月30日	□	壮管図書フェスティバル出展（壮管町）
10月3日	☆○	JGN全国大会アポイ岳大会プレジオツアー 洞爺湖有珠山ツアー（～5）
10月6日	☆○	JGN全国大会アポイ岳大会（北海道様似町）（～8）
10月13日	□	火山マイスター認定審査
10月13日	□	ジオパーク講座「巨大噴火・津波の痕跡と遺跡を巡る旅」（北海道博物館主催）
10月26日	□	伊達高校ジオパーク探究学習（伊達市）
11月10日	□	ジオパーク講座「マグマを作ってみよう！」（豊浦町）
11月25日	◆	壮管まんきつDAY ジオピザ体験（壮管町）
12月11日	☆	首都圏誘致PR事業（東京）
12月18日	○	北海道大学総合博物館相互協力協定締結式（札幌市）
1月16日	○	JGN事務局長会議（東京）
1月17日	○	JGN、JGC審査基準検討会（東京）
1月19日	○	ジオパーク学術専門員 面接試験（洞爺湖町）
1月20日	□☆	ジオパーク講座「ガイドのためのリスクマネジメント」（洞爺湖町）
1月24日	◆	アイヌ語地名絵本制作（仮称）ヒアリング調査（～27日）
1月26日	☆	胆振管内商工会連合会合同研修会 ジオパーク説明（洞爺湖町）
2月20日	○	JGN役員地域事務局長会議（東京）
3月9日	◆	まるごと豊浦～北の収穫祭～ ホットサンドブース出展（豊浦町）
3月10日	□	ジオパーク講座「SDGsを体験しよう！」（伊達市）

2 主な事業

(1) 日本ジオパーク再認定審査対応

① プロGRESSレポート（現況報告書）の提出

協議会学識顧問、各市町観光協会、各ガイド団体等の協力のもと、4年間の取組み状況をまとめた報告書を作成し、平成30年4月に日本ジオパーク委員会に提出した。

② 現地審査（8/17～19）

審査員

- ・ 渡辺 真人 氏（産業技術総合研究所統括研究主幹/ユネスコ世界ジオパーク評議会委員）
- ・ 藁谷 哲也 氏（日本大学文理学部教授）
- ・ 鈴木 雄介 氏（伊豆半島ユネスコ世界ジオパーク 地球科学専門員）

③ 審査結果

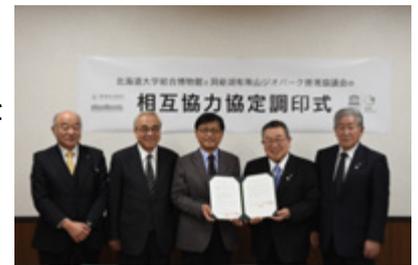
再認定（2018年9月20付 日本ジオパーク委員会通知）



(2) 北海道大学総合博物館との相互協力協定締結

ジオパークの地球科学的価値が多方面からの学術研究によって保障されること、また洞爺湖有珠山ジオパークと北海道総合博物館の双方が行う教育活動や地域振興への波及、自然災害へのリスク軽減等を目指し、12月18日に相互協力協定を締結した。協定内容は下記のとおり。

- 1) ジオパークの学術研究の推進および普及啓発に関すること
- 2) ジオパークおよび博物館が連携して行う調査研究事業に関すること
- 3) 火山学をはじめとする地球科学の普及啓発に関すること
- 4) その他、科学技術、文化の振興に関すること
- 5) 火山噴火をはじめとする自然災害のリスク軽減に関すること
- 6) 博物館教育、学校教育、生涯学習に関すること
- 7) 地域振興に関すること
- 8) その他 両者の協議に関すること



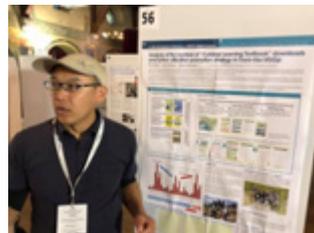
(3) 各種会議出席

① 第8回 UGG 国際会議（イタリア・アダメツロブレント）

- ・ 教育普及委員1名、事務局員1名 参加
- ・ 「洞爺湖有珠山UGGpにおける野外学習テキストのダウンロード数分析と活用促進戦略」 ポスター発表
- ・ JGN共同ブース出展



【教育普及委員 口頭発表】



【事務局 ポスター発表】



【JGN共同出展ブース】

② 日本ジオパーク全国大会 アポイ岳大会（北海道様似町）

- ・洞爺湖有珠山プレジオツアー「減災文化と火山の恵み」実施 ツアー参加者19名
- ・代表団派遣（会長、各市町代表、幹事、学識顧問、事務局長ほか9名）
- ・JGN運営会議参加（加賀谷事務局員、横山教育普及委員）
- ・ジオパーク・パートナー 参加補助 3名
- ・分科会「ジオパークが担う普段の減災（防災）活動って何？」企画・運営
- ・子ども向け火山実験ブース、PRブース出展



【プレジオツアー】



【火山実験ブース】



【分科会】

（4）環境省との連携

西山火口区域は特別保護地区であり、雑草・雑木処理の際はそのつど環境省への申請が必要だったが、洞爺湖町の申請により西山山麓火口散策路全体が園地として認可されたことで、今後、雑草・雑木処理の申請は免除される。

また、旧国道230号（通称：大グラバーン）部分も追加で園地としての認可を受けた。

このほか、環境省 北海道地方環境事務所と連携し、拠点施設である洞爺湖ビジターセンター外壁に、ジオパークのロゴマークを設置できた。



【洞爺湖ビジターセンター外壁表示】

（5）ジオサイト保全に関する活動

① 西山山麓火口散策路（旧国道230号等）草刈り作業

環境省北海道地方環境事務所による「有珠山周辺保全活用検討会」（H28～H29年度）で示された、支笏洞爺国立公園の特別保護地区において有珠山の火山活動を学べる教育の場としての利用が期待される旧国道230号等の整備作業を行った。

作業にあたり住民ボランティア17名の協力があった。



【作業前】



【作業後】



【作業前】



【作業後】

(6) 地域教育普及促進事業

① 洞爺湖有珠火山マイスター認定審査

平成 30 年度審査：4 名受験 4 名合格（認定者計 52 名）

- ・ 荒井秀樹さん（伊達市） ・ 加賀谷千絵さん（壮瞥町）
- ・ 佐々木美穂子さん（豊浦町） ・ 黒田聖乃さん（伊達市）



【火山マイスター合格者】

② 圏域内学校への火山マイスター派遣

大学入試改革への対応として、高校の授業でテーマを設定した探究活動に重点が置かれるようになり、ジオパーク学習の機会が増加した。

- 5/8 伊達緑丘高校「洞爺湖有珠山ジオパーク巡検」講師派遣（火山マイスター8名）
- 6/18 虻田高校「遊覧船ガイド育成プロジェクト」講師派遣（火山マイスター1名）
- 10/26 伊達高校「洞爺湖有珠山ジオパーク探究」講師派遣（火山マイスター6名）

③ ジオパーク野外学習テキスト利用状況

	冊子配布数				ダウンロード数
	伊達市	豊浦町	壮瞥町	洞爺湖町	
「有珠山で、大地の変化を感じてこよう！」 (小学・中学理科)	340	30	0	70	1,041
「大自然に育まれた先人の知恵にふれよう！」 (小学・中学 社会)	287	30	0	60	77
「有珠山で森の誕生と変遷を学んでこよう！」 (高校生物)	250	0	0	0	83

④ 親子有珠山登山会

ジオパーク圏域内の児童・その家族を対象に、活火山有珠山や自然環境、動植物を知り、火山との共生について学ぶ機会とした。
火山マイスター2名が講師を務めた。

〈コース〉

洞爺湖文化センター集合（バス）⇒ 金比羅山側林道ゲート ⇒ 北西外輪山尾根 ⇒ 第4火口…（徒歩）…有珠新山山頂…大有珠山頂（昼食）…（徒歩）…第4火口（バス）⇒ 洞爺湖文化センター 解散



〈参加者〉

伊達市 20 名、壮瞥町 3 名、豊浦町 2 名、洞爺湖町 3 名 合計 28 名

(7) JICA・学校等からの視察・研修対応

火山防災と観光振興、地域資源の活用事例として、国内外からの視察に対応。

- 6/ 5 登別中学校 1 年生
- 6/12 京極町民生委員児童委員協議会視察
- 6/14 JICA 研修
- 6/25 箱根町議員視察
- 6/27 下北ジオパーク むつ市大湊小学校ジオパーク学習
- 8/27 神奈川県議会議員視察
- 10/19 北海学園大学教員・運輸局視察
- 10/25 長野県議会議員視察
- 10/29 御嶽山火山マイスター視察 (5 名)



【6/14 JICA 研修】

(8) ジオツーリズム普及促進

① ジオツーリズム等普及資料作成

- ・三つ折りリーフレット増刷 (日・英・繁・簡・韓 各 10,000 枚)
- ・三つ折りリーフレット増刷 (日 16,000 枚)
- ・JR 駅用フラッグ (120 枚)
- ・ジオマスターカード (34 種類×200 枚)
- ・のぼり (四角・600 枚)、のぼり立て用杭 等



② 視認性強化

- ・ のぼり配布数 伊達市 2 枚、豊浦町 20 枚、壮瞥町 64 枚 洞爺湖町 69 枚
- ・ 道南バス車両 ステッカー (7 台)
- ・ 拠点施設 外壁ロゴマーク貼り付け
(洞爺湖ビジターセンター/火山科学館、三松正夫記念館、有珠山RW山麓駅、財田自然体験ハウス)
- ・ ウェルカムサイン製作及び貼付け (蟠溪ふれあいセンター、道の駅とうやこ、伊達市大滝区)



【のぼり】



【道南バスステッカー】



【三松正夫記念館】



【蟠溪ふれあいセンター】



【伊達市大滝区】



【道の駅とうや湖】

③ ガイド団体・住民活動・研究活動支援

- ・ジオパークエリア内のガイド等のネットワーク化（ジオパーク・パートナー制度の運営）※160名登録
- ・ジオパーク・パートナー 3名にJGNアポイ岳大会への参加助成
- ・ジオパーク講座の開催（計9回）
- ・アルトリ海岸での調査活動補助

事業名	参加者数	内訳				
		伊達市	豊浦町	壮瞥町	洞爺湖町	その他
4/21 白頭山噴火の年代測定について	27	14	0	7	6	0
4/28 ガイドのためのリスクマネジメント	13	4	1	2	6	0
5/12 ガイドのためのインタープリテーション	14	5	0	3	5	1
8/25 火山マイスター養成講座（座学）	33	12	3	7	9	2
8/26 火山マイスター養成講座（野外）	25	8	1	5	6	5
10/13 巨大噴火・津波の痕跡と遺跡を巡る旅	18	6	0	0	5	7
11/10 マグマを作ってみよう	22	4	9	5	3	1
1/20 ガイドのためのリスクマネジメント	6	1	1	2	2	0
3/3 SDGsで遊ぼう	25	14	3	2	3	3
	183	68	18	33	45	19



【ジオパーク講座】
「ガイドのためのリスクマネジメント」



【ジオパーク講座】
「マグマを作ってみよう」



【調査研究補助】
海岸斜面土砂移動

④ イベントへの参加・出展

- 7/15 北海道博物館ジオパークまつり出展
（主催：北海道博物館/札幌市）
- 9/3 壮瞥町図書フェスティバル
（主催：壮瞥町教育委員会/壮瞥町）



【壮瞥町図書フェスティバル】

⑤ 副読本、雑誌、WEBへの掲載

- | | | |
|---------|-----------------------------|-------------|
| 2018.4 | 国内旅行向けの北海道観光情報 Do! Planning | 洞爺湖有珠山ジオパーク |
| 2018.8 | 機内情報誌 rapora 8月号 | 北海道ジオパーク紹介 |
| 2018.10 | 玉川百科子ども博物誌 | 洞爺湖有珠山ジオパーク |
| 2019.1 | コンサルタント北海道第147号 | 洞爺湖有珠山ジオパーク |

(9) ジオの恵み普及促進

① シンボルメニュー（ジオピザ、ホットサンド）のPR

- 8/10 にぎわいまつり 2018 (主催：洞爺湖町商工会青年部/洞爺湖町)
11/25 壮警まんきつDAY (主催：壮警町)
3/10 まるごと豊浦 北の収穫祭 (主催：まるごと豊浦北の収穫祭実施委員会/豊浦町)



【壮警まんきつDAY】



【まるごと豊浦北の収穫祭】

(10) アイヌ文化関連事業

「絵本『アイヌ語地名と大地のものがたり（仮題）』作成基礎調査事業」として、平成30年度公益社団法人アイヌ文化振興・研究推進機構の助成を受け、洞爺湖有珠山ジオパーク内のアイヌ語地名を主題とした絵本製作のための基礎調査を実施した。主な調査事業は下記のとおり。

- 6/20-22 第1回集中調査 ・ヒアリング調査 ・関連施設史料文献調査
(豊浦町アイヌ協会 宇治会長 / バチラー夫妻記念堂 大町牧師 / 北海道博物館 遠藤研究員)
7/21 豊浦町カムイノミ・イチャルパ取材
1/15 第2回集中調査 ・ヒアリング調査 ・現地調査
(伊達市在住 福田茂夫氏 / 洞爺湖町在住 多田康之氏、笠谷覚真氏)



【礼文華生活館】



【札幌キリスト教会】



【北海道博物館】



【アルトリ海岸ネイチャーハウス】